

快護通信

A good care makes a good smile. A good smile induces happiness.



KOYO CORPORATION

デマース® オアシス・ワン

株式会社光洋

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 1-5-1

TEL045-701-2210 URL <http://www.koyo.jp>

発行人：ケアコンシェルジュ

< 22号 >

知っておこう！不感蒸泄のこと

不感蒸泄とは、排尿や発汗などといった目で見て感じ取れる排泄（有感蒸泄）とは違い、私達が感じることなく口呼吸や皮膚呼吸によって蒸散する水分のことをいいます。平熱時で、室温が28度程度の時、不感蒸泄は体重1kgあたり約15ml/日です。

例) 体重が60kgの方の場合

平熱の時の不感蒸泄→ $60 \times 15 = 900\text{ml}$

体重60kgの方は不感蒸泄だけで1日約900mlの排泄があることがわかります。さらに体温が1度上がるごとに15%増え、また、気温が30度から1度上がるごとに15～20%増えます。(例参照)

高齢者の水分補給

高齢者の方々は、加齢とともに主に以下の3つの変化がおこります。

例2) 体重が60kgの方が発熱した場合(平熱は36.5℃)

平熱より1度発熱した時の不感蒸泄→ $900 \times 1.15 = 1035\text{ml}$

平熱より2度発熱した時の不感蒸泄→ $1035 \times 1.15 = 1190\text{ml}$

2度発熱があった場合は平熱時より約300mlの水分を余計に排泄しています。*1

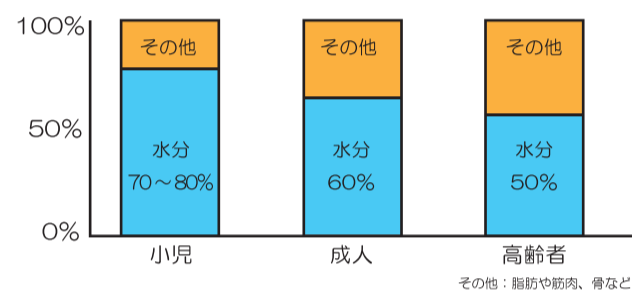
*1) 平熱時の不感蒸泄は食事に含まれる水分で補えますが、発熱時は不足分の水分を補いましょう。

1. 水分を蓄えるための筋肉が減少し、体内の水分量が少なくなる(※2)
2. 腎臓の機能が低下し、老廃物を出すためたくさんの尿が必要となる
3. 体の感覚が鈍くなり、のどの渇きも感じにくくなるため、水分が必要でも本人が気付かない

これらの変化により、成人に比べ高齢者の方々の体は渇きやすくなっています。

尿量と同じく、不感蒸泄量も合わせて排泄量チェックをし、飲水量を調節しましょう。

(※2) 人間の体に占める水分量の割合 / 加齢による体液の推移



皆様の不感蒸泄量はどのくらい？

kg × 15 = ml

質の高いサービス提供に向けた国の取り組み

平成21年、我が国の高齢化率は22.8%となり、「団塊の世代といわれる昭和22～24年生まれの方が75歳以上になる平成37年には、212～255万人程度の介護職員が必要になる」と、社会保障国民会議が平成20年にシミュレーションを行いました。

高齢者や障がい者に対する介護サービスの担い手である介護人材の安定的な確保とその資質向上もまた不可欠となり、国は法律改正などを行っています。

介護現場において中核的な役割を果たしている介護福祉士の制度は昭和63年に創設され、その後、資質向上を図る観点から平成19年に、すべての者について一定の教育プロセスを経た後に国家試験を受験する資格取得方法が一元化されました。

介護福祉士養成施設卒業者に対しても国家試験受験が義務付けられ、試験に合格しなければ資格を取得できません。また、介護福祉士資格を取得しようとする実務経験者に対しても、3年

以上の実務経験に加え、450時間の実務者研修の受講が義務付けられました。

これまでホームヘルパー2級(訪問介護員)といわれた資格は、この4月から「介護職員初任者研修修了者」と位置付けられ、ホームヘルパー2級、もしくは、介護職員初任者研修修了者は、自宅学習や講義において学習する科目のうち130時間分が免除されます。この研修(最低でも6カ月以上)は必ずしも連続して学ぶ場所に通うことを意味するものではなく、数年間かけて少しずつ研修を修了すれば良いとされており、質の高いサービスの提供と、介護人材の確保を両立させていく観点から、介護福祉士の割合は当面5割以上を目指すことが概ね妥当であると考えられています。

新年度を迎え、資格取得を目指す方や実務者研修の受講を検討している方は、情報を集め取り組まれることをお勧めします。

寝具を濡らさない防水シート

これが
コンシェルジュの
おすすめ

制菌 シート



制菌加工で悪性の菌を減少

特定用途対象のSEK赤ラベル取得品。

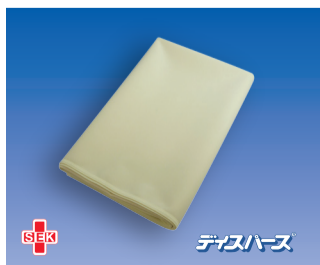
黄色ブドウ球菌・大腸菌・緑膿菌・肺炎桿菌・MRSA、さらに病原性大腸菌O-157を減らします。(O-157は自社基準)

業務用洗濯に対応した耐久加工

130度の高温乾燥に対応した耐熱加工。医療機関・介護施設の洗濯設備に合わせました。

吸水速乾で平滑な生地

水分を素早く吸い込んで、素早く乾く生地を使用。肌に優しい平らで滑らかな生地。スキンケア中の利用者に最適です。



制菌加工部位：シート表面●裏面材：ポリウレタンフィルムラミネート
表面材：ポリエステル100%●サイズ：90cm×150cm●発売元：(株)光洋

特別養護 老人ホーム

わかたけ青葉様



横浜市青葉区の住宅地に1万5千坪の広大な敷地内にある、社会福祉法人若竹大寿会特別養護老人ホームわかたけ青葉様では、「個々の暮らしを大切にしたい」との想いを込め、昨年よりユニットケアを導入されました。わかたけ青葉様定例の排泄委員会への出席時は、私どもにいつも多くの発見や考えに気づかせてくれます。今回はその排泄委員の職員の皆様に「排泄ケア」をテーマにお話を伺いました。

「若竹大寿会の法人内でも排泄ケアは大切にしています。当施設は、ユニットケアを始めてからは、さらに一人ひとりに合った排泄ケアをしていくことを意識するようになりました。」と、職員様はお話くださいました。「人を幸せにします」「人が大切にされる世の中を創ります」を理念に掲げ、「個々の暮らしを大切にしたい」との想いを、排泄ケアでも実践しています。その一つに、「ご利用者様の排泄リズムの把握や、使用するおむつのタイプやパッドのサイズ、介護の方法、その一つ一つには必ず根拠がある」との考えのもと、わかたけ青葉様では「根拠表」を活用しているとのこと。 (図1) 根拠表には、職員様ご担

当しているご利用者様のケア方針を作成しており、ご利用者様の状態が変化した時は適宜内容を見直しています。決定内容をユニット職員が納得し実践していく為にも、根拠を適切に伝え、根拠を知ることは大切だと職員様はお話くださいました。施設現場では情報の共有方法が課題であるところも多く見受けられます。そこでわかたけ青葉様では、ユニット内の排泄関連事項は排泄委員が中心となり管理し、その内容を排泄委員会で共有することで施設全体に伝わるようにしています。排泄に関する意見は職員皆様から募っているので、全ての方が排泄に関する方針にかかわるようになります。「自分で考えた案によってご利用者様



氏名	誘導 交換時間	使用パンツ パッド種類	根拠	気づき 検討内容
			ご利用者様 目線の根拠 を記入	

(図1)

から良い反応があると“気持ちいいなあ”と思う」と職員様。決定事項は24時間シートに反映させて管理していらっしゃいます。決定事項は全て職員皆様が根拠を理解した上でのケア方針になるのでその場その場で考えて行動できる人材が育つのです。



昨年度の排泄委員会では「テープから紙パンツへ。紙パンツから布パンツへ。」が目標でした。一人ひとりに合った排泄方法への見直し、現在では多くのご利用者様のアウターのタイプが変更されたそうです。「パッドに排泄することが普通という考えを辞めていこう」という考えを徐々に職員間に広めていき、現在の排泄形態に至っている根拠は何か？を考えることで、排泄形態の見直しに繋がったのだと職員様はお話くださいました。パンツタイプを使う際に課題となるのが“便失禁”ですが、快適な排便を促す為の排便コントロールは勿論のこと、いきみやすくなるよう足の間にタオルを挟んだ対応や、排泄時の姿勢の見直し、排便を促す腹部マッサージや、冷たい飲み

物を飲んでいただくなど、他の部署とも相談しながら色々な方法を検討しているとのことでした。段階を踏んでアウタータイプを変更していき、便失禁が改善できた方は布のパンツへ変更されているそうです。現在、わかたけ青葉様では、弊社オンラインワントラックスやKOYOメッシュホルダーもご利用いただいております。また尿取りパッドも細かく使い分けをされていることが毎月の実績内容にも変化として現れています。また今回は取材の他に、排泄委員会の職員様を対象に弊社より排泄ケアの勉強会も実施しました。わかたけ青葉様では、

夕飯前の和やかな風景です。(右写真)
家具の配置は、ご利用者が部屋から出た時に手すり替わりにする為の配置。飾り棚はトイレが丸見えになるのを配慮した配置とのこと。(左上写真)

